

製品名: HSPB8/HSP22(2C3)マウスモノクローナル抗体

カタログ番号: AMM12270

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000
分子量	22kDa

抗原情報

遺伝子名	HSPB8 HSPB8; CRYAC; E2IG1; HSP22; PP1629; Heat shock protein beta-8; HspB8; Alpha-crystallin C chain; E2-induced gene 1 protein; Protein kinase H11; Small stress protein-like protein
別名	HSP22
遺伝子 ID	26353.0
SwissProt ID	Q9UJY1
免疫原	HSPB8/HSP22 の組み換えタンパク質

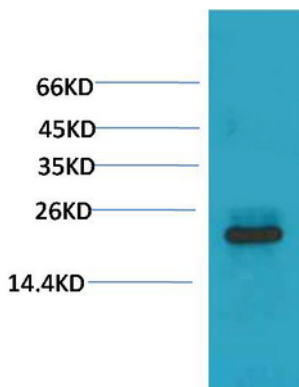
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、分子のC末端に保存的な α クリスタリンドメインを有する小型熱ショックタンパク質スーパーファミリーに属します。この遺伝子の発現は、エストロゲン受容体陽性乳がん細胞においてエストロゲンによって誘導され、また、マクロオートファジー刺激因子である Bag3 と共役してシャペロンとして機能します。したがって、この遺伝子は細胞増殖、アポトーシス、および発癌の制御に関与していると考えられており、この遺伝子の変異はシャルコー・マリー・トゥース病を含む様々な神経筋疾患と関連付けられています。[RefSeq 提供、2008年7月]、注意：タンパク質キナーゼ活性を有し、Mn(2+)依存性セリン-スレオニン特異的タンパク質キナーゼとして作用することが報告されています (PubMed:10833516)。,疾患: HSPB8 の欠陥は、シャルコー・マリー・トゥース病 2 型 (CMT2L) [MIM:608673]の原因です。CMT2L は、シャルコー・マリー・トゥース病の軸索型です。軸索 CMT ニューロパチーは、明らかなミエリン変化を伴わない軸索再生の兆候、正常またはわずかに低下した神経伝導速度、進行性の遠位筋の筋力低下および萎縮を特徴とする。、疾患: HSPB8 の欠陥は、遠位遺伝性運動ニューロパチー 2A 型 (HMN2A) [MIM:158590] の原因であり、遠位遺伝性運動ニューロパチー IIA 型または脊髄シャルコー・マリー・トゥース病 IIA としても知られる。遠位遺伝性運動ニューロパチーは、脊髄前角の運動ニューロンの選択的障害によって引き起こされる神経筋障害の異質なグループを構成し、後角の感覚障害は伴わない。全体的な臨床像は、臨床的な感覚喪失を伴わない、脚の古典的な遠位筋萎縮症候群から構成される。この疾患は、脚の前脛骨筋と腓骨筋の遠位筋の筋力低下と萎縮で始まる。その後、筋力低下と萎縮は下肢近位筋および / または上肢遠位筋に拡大することがある。、機能: 温度依存的にシャペロン活性を示す。、誘導: 17- β -エストラジオールによる。、PTM: リン酸化。、類似性: 低分子熱ショックタンパク質 (HSP20) ファミリーに属する。、サブユニット: モノマー。HSPB1 と相互作用する。、組織特異性: 主に骨格筋と心臓に発現する。、

研究分野

シグナル伝達

画像データ



1:2,000 に希釈した HSPB8/HSP22 マウス mAb を使用した 293T のウエスタン ブロット分析。